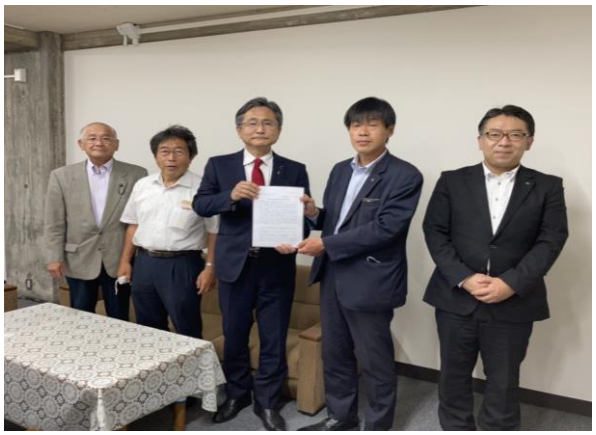
JRTU JR九州労組ニュース
No.57
2022年
5月11日
九州旅客鉄道労働組合
発行責任者 芦原 秀己

ＪＲ九州労組要請行動第２弾（宮崎・佐賀県議会）

要望事項に対して理解が示される

ＪＲ九州労組は５月 10・11 日、宮崎県議会「県民連合宮崎」と佐賀県議会「県民ネットワーク」への要請行動を実施した。



10 日に実施した「県民連合宮崎」への要請行動には、北村公次中央執行副委員長、後藤芳寿鹿児島地本執行副委員長が県議会を訪問し、北村副委員長が「地域公共交通の維持に対する支援を求める要望書」を岩切達哉県議に手交した。会派からは、岩切県議の他、太田清海県議と田口雄二県議が同席した。（写真左）

北村副委員長は、先月の交通重点政策意見交換会への出席に謝辞を述べるとともに、ゴールデンウィーク期間中の新幹線・在来線特急列車の利用状況や要望事項の趣旨等を説明し、６月定例会での取り組みを要請した。

各県議からは、６月定例会で要望事項に基づく質問を行う意向が述べられた他、「総合交通課との意見交換も効果的ではないか」との発言があった。岩切県議は、今後会派で要望事項を共有した上で、他県の事例も参考にしながら、具体的な取り組みを検討していく考えを示した。

11 日に実施した「県民ネットワーク」への要請行動には、北村副委員長、佐賀支部から森永克章執行委員長、佐藤雄介執行委員が県議会を訪問し、北村副委員長が「地域公共交通の維持に対する支援を求める要望書」を徳光清孝県議に手交した。（写真右）

北村副委員長は、先月の交通重点政策意見交換会への出席に謝辞を述べるとともに、ゴールデンウィーク期間中の新幹線・在来線特急列車の利用状況や令和４年３月期決算、要望事項の趣旨等を説明し、６月定例会での取り組みを要請した。森永委員長は、西九州新幹線開業に伴い並行在来線となる肥前山口～諫早間のダイヤ計画案を説明した。

徳光県議は、要望事項に理解を示すとともに、会派の会合で共有を図った上で、必要に応じて定例会での質問や県への要請を行っていく考えを示した。